

2023 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	飯田 隆夫
研究テーマ	相模国大山寺縁起と木太刀奉納習俗に関する発展的研究
研究概要	<p>研究課題 1 (大山寺縁起) 国立公文書所蔵「相州大山寺縁起」・内海景弓所蔵「大山寺縁起」・平塚市立博物館所蔵及び町田市勝楽寺所蔵「大山寺縁起」の4 種類の真名本縁起の比較検討の上に2023 年度に学会発表を進める。</p> <p>研究課題 2 (木太刀奉納) 東御市柵津地区の木太刀奉納の検討により、2023 年度に学会発表を進める。</p>

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>研究課題 1 2021 年～'22 年にかけて、神奈川県伊勢原市大山内海景弓宅、同県平塚市博物館、東京都町田市勝楽寺にそれぞれ所蔵される資料調査・検討により、『放送大学日本史学論叢』11 号に資料紹介として投稿し、掲載決定となった。</p> <p>【要旨】相模国大山寺縁起の定本は、A 国立公文書館所蔵寛永 14 年の真名本「大山縁起」とされてきたが、本稿は、元大山御師の出自である正保 2 年 B 内海景弓氏所蔵の「大山寺縁起」に着目し、A 縁起より B 縁起のほうが、大山寺縁起の祖本に近いことを考察した。</p> <p>研究課題 2 2020～'22 年にかけて、長野県東御市柵津地長命寺大日堂に所蔵される相模国大山石尊木太刀の資料収集及び分析を踏まえ、『佛教大学総合研究所』紀要第 31 号に投稿し掲載決定となった。</p> <p>【要旨】現在、奉納日・奉納宛先が銘記される木太刀は、関東地方を中心に 20 振内外であるが、長野県東御市柵津の長命寺大日堂には、天明元年以来善 121 振の木太刀が所蔵されている。本稿は、木太刀の銘文・大山石尊講・祈禱牘・受領印章などに着目し柵津地区の参詣実態を明らかにした。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>単「相模国大山寺真名本縁起と仮名本縁起の相関」『放送大学日本史学論叢』11 号、pp. 113～143、放送大学大学院歴史研究会（2023 年 11 月査読有、2024 年 4 月、掲載決定）</p> <p>単「東御市柵津地区における相模大山石尊の奉納木太刀」『佛教大学総合研究所紀要』第 31 号 pp 1～13、佛教大学総合研究所（2023 年 9 月査読有、2024 年 3 月掲載）</p>
3. 今後の課題	<p>近世における関東山岳御師の行動文化と身分に関する研究に取り組む。</p>